

企画提案書作成事項

企画提案書は下記の評価基準に準じて作成してください。

評価項目	評価の視点	詳細
実施体制	円滑に本事業を実施するための職員配置及び危機管理の体制が整っているか。また、適切な進捗管理が可能か。	組織体制、専門的知識を有する職員の人数、配置など、事業を実施する上での体制が十分確保されているか。責任者・市との連絡担当者を明確にし、危機管理体制が確保されているか。
		事業実施に無理のないスケジュールを想定できているか。
個人情報の取扱い体制	個人情報の受け渡しは、個人情報漏洩のリスクを考慮した方法であるか。	個人情報を匿名化するための具体的な支援方法はどのようなものか。環境整備は可能か。
		カナ氏名、生年月日、性別の3情報のみで個人を特定し、各種情報の結合に繋げることが可能か。
		個人情報の受け渡し、運搬時等の情報漏洩対策は万全か。
地域の健康課題の分析 (分析の質、精度、信頼性)	仕様書に記載の項目が分析できる内容となっているか。また、属性分類や分析方法が分かりやすく整理され、地域の健康課題の検討時に役立つ内容となっているか。	地区別のデータを可視化することで、市・区・圏域単位での健康課題を明確にできるか。
		社会保障費の増減につながる要因を検討し、現在の取組み内容の見直しにつなげられるか。
		健康寿命に影響を与える要因を検討し、現在の取組み内容の見直しにつなげられるか。
事業評価 (評価の質、精度、信頼性)	仕様書に記載の項目が分析できる内容となっているか。また、今後の事業展開を検討する際に、属性分類別に具体的に検討できる内容となっているか。	介入群とともに対照群を設定し、事業参加による対象者の経年変化を可視化することで事業の評価につなげられるか。
		集団だけでなく、個人ごとの経年的な詳細状況を対象者ごとに把握でき、個人を総合的に評価しながら支援に取り組める仕組みとなっているか。
分析結果の報告及び今後の事業展開への助言（提案）	中間報告、及び分析終了後の会議等への同席や説明等、臨機応変な対応が可能か。また、助言内容や今後の事業展開への提案は、分析結果に即した、具体的かつ実現可能な内容とすることが可能か。	10月の中間報告のほか、関係部署や関係機関との会議や事業検討の場等にも同席し、連携の促進を図るための結果説明を実施できるか。
		助言内容や今後の事業展開への提案は、分析結果に即した、具体的かつ実現可能な内容とすることが可能か。